

沖縄県在宅医療・介護連携推進講演会

テーマ：在宅医療・介護連携をどう進めるか

浦添市在宅医療・介護連携推進の取組



一般社団法人浦添市医師会

浦添市医師会理事 浦添市在宅医療ネットワーク代表世話人
まちなと内科在宅クリニック 院長 大濱 篤

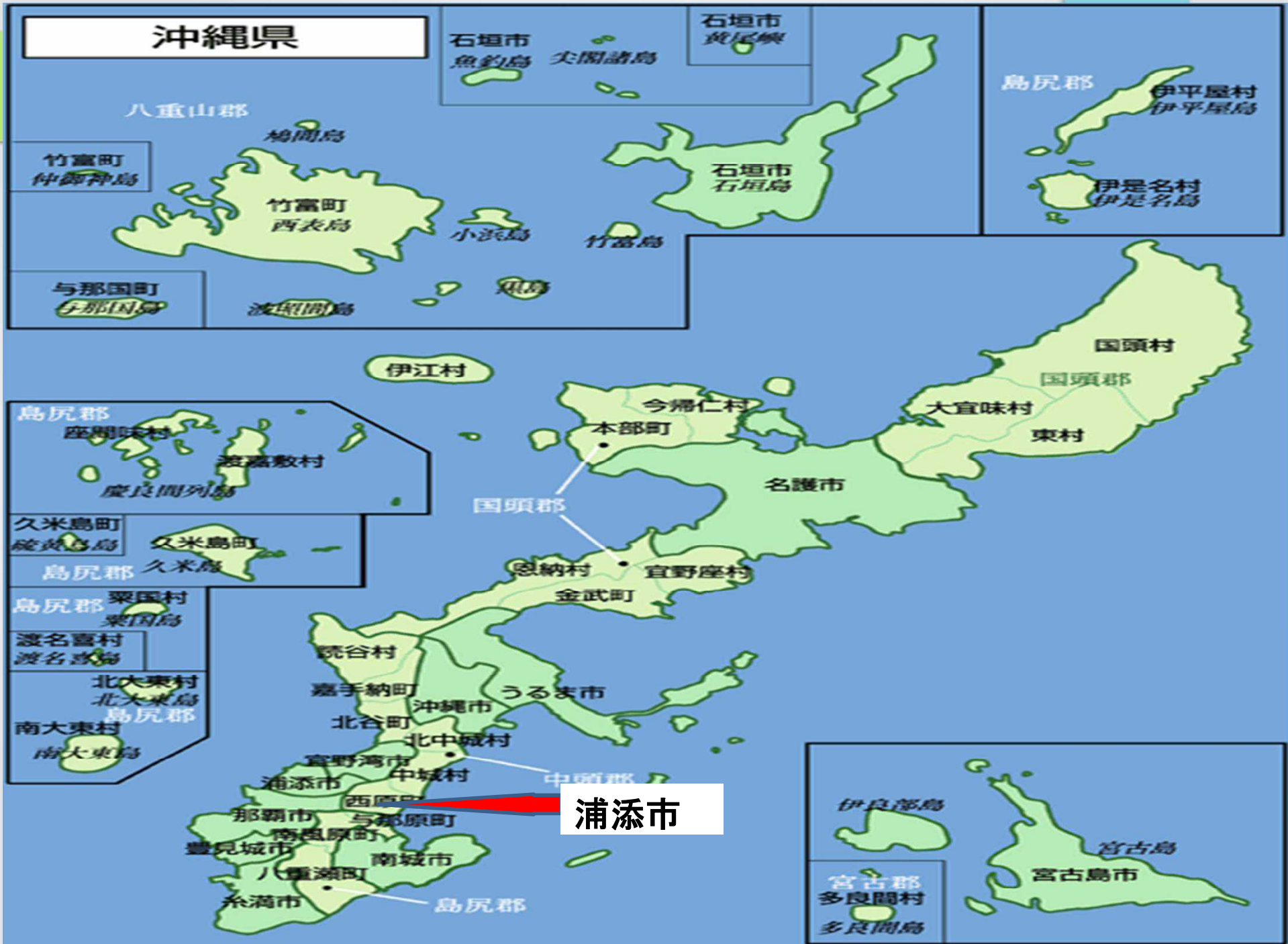
平成27年8月21日(金)

沖縄県博物館・美術館 講堂

沖縄県 浦添市の概要

浦添市は沖縄本島中南部の境に位置し、南に那覇市、北東に宜野湾市、東に西原町が隣接しています。市域は、東西8.4km、南北4.6km、面積は19.30km²となっております。那覇市や中部地域への交通便が良く、県内では戦後最も人口が増加した自治体です。市西海岸地区には、米軍牧港補給基地や県卸商業団地など商工業が発達しています。また、琉球王朝発祥の地で、浦添城跡・伊祖城跡などの国・県文化財の史跡があり、歴史とロマン、自然が調和されている街です。

また県内でも4番目に人口が多く、平均年齢も若い、新住民や子育て世代が多いのが特徴です。その一方で高齢化率も年々上昇を続けており、そのスピードは急速となっております。



浦添市の統計

面積: 19.53km²

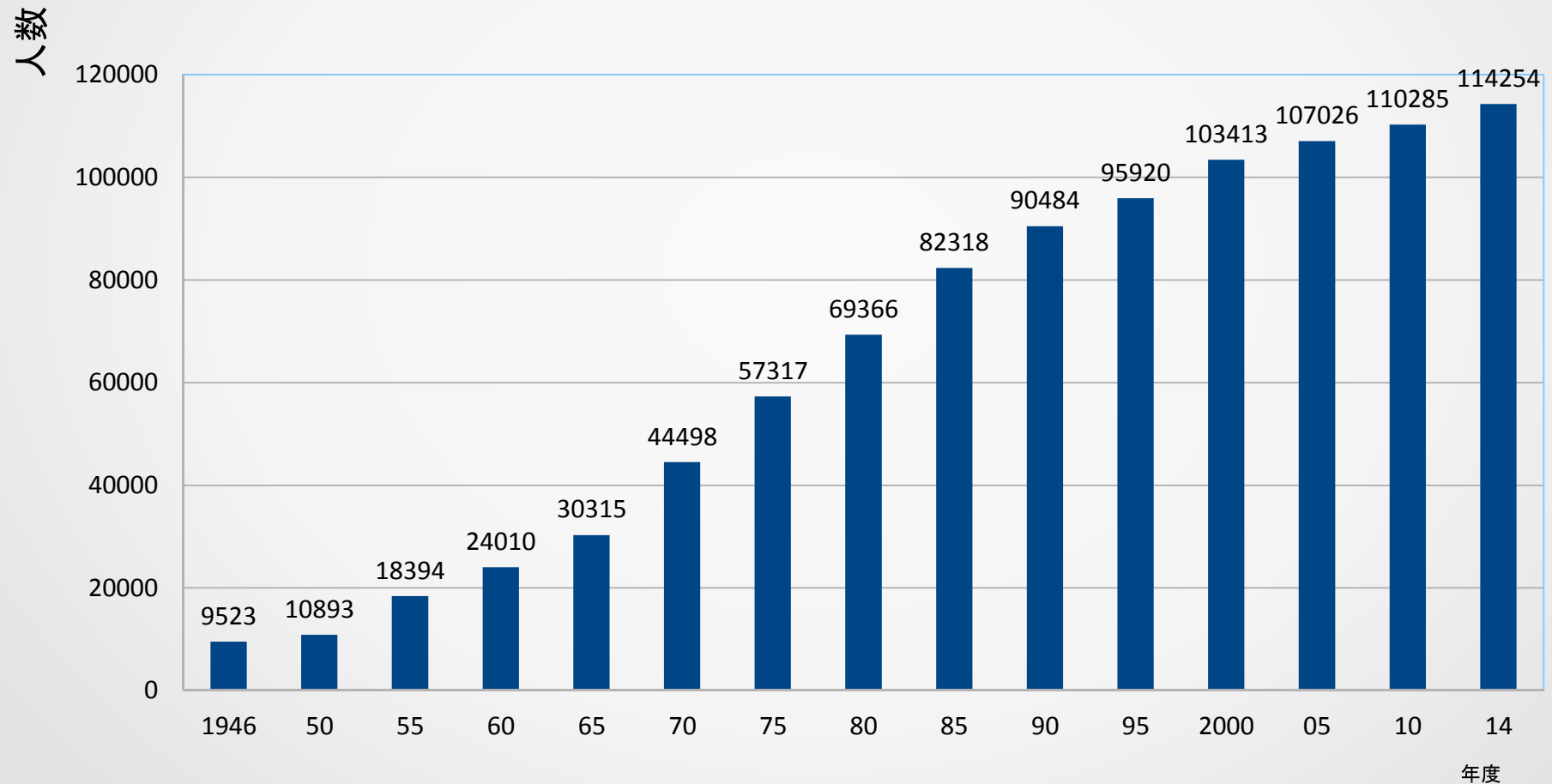
人口: 114,020人

世帯数: 47,330世帯

高齢化率: 16.5%

資料: 浦添市HP 企画部統計課(2015.6月末現在)

浦添市の人口推移



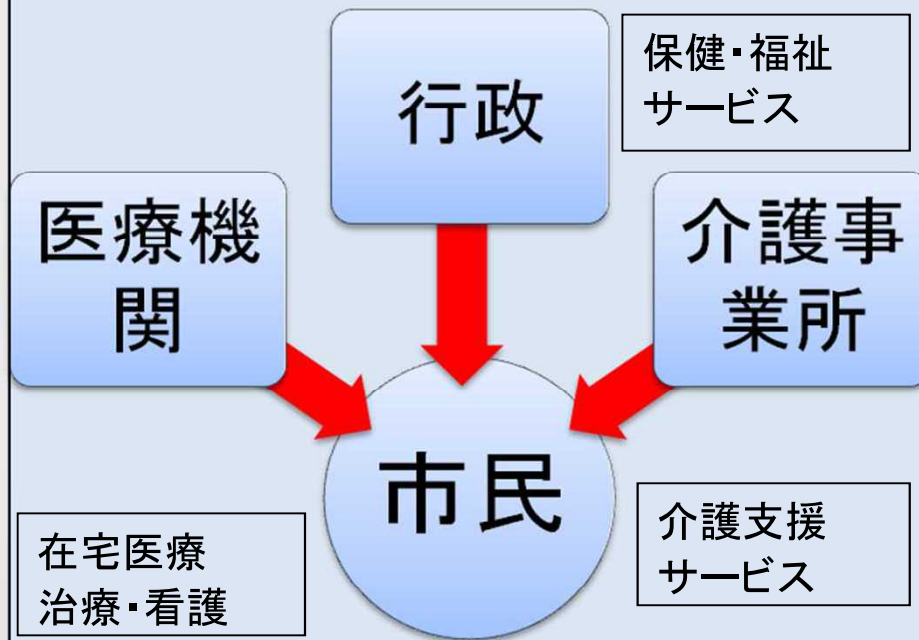
資料: 浦添市HP 企画部統計課(2014.11月末現在)

浦添市と浦添市医師会

浦添市と浦添市医師会の連携についてですが、平成4年に浦添市医師会が創設され、保健、福祉分野を中心に協力関係を構築してきました。平成9年に病診行連携を初め、平成14年に庁舎内に「浦添市メディカル・インフォメーションセンター」を開設し、市民に良質な医療を提供するための体制を整え、医療・健康などを中心に相談業務や医療ニーズに応じた必要な情報提供、関係機関への連絡調整等を行ない、地域医療の発展に資すること及び市民福祉の向上を図っておりました。毎年、浦添市医師会と市の健康部・福祉部との意見交換会も行っており、幅広い意見を交わしながら顔の見える関係づくりを築いております。他にも「うらそえ市民公開講座」や「在宅医療ネットワーク市民公開講座」の開催など医師会を中心に開催しています。今後は高齢化社会に向けて地域包括ケアシステムの構築が問われており、医療との連携強化は必須となります。医師会を中心に常に連携を図りながら行政と医療との充実した関係を築いていき、医療・介護・福祉・保健の連携を密にしながら、これからの在宅医療・介護推進へ向けても協働して、健康で安心安全な地域づくりに邁進してまいります。

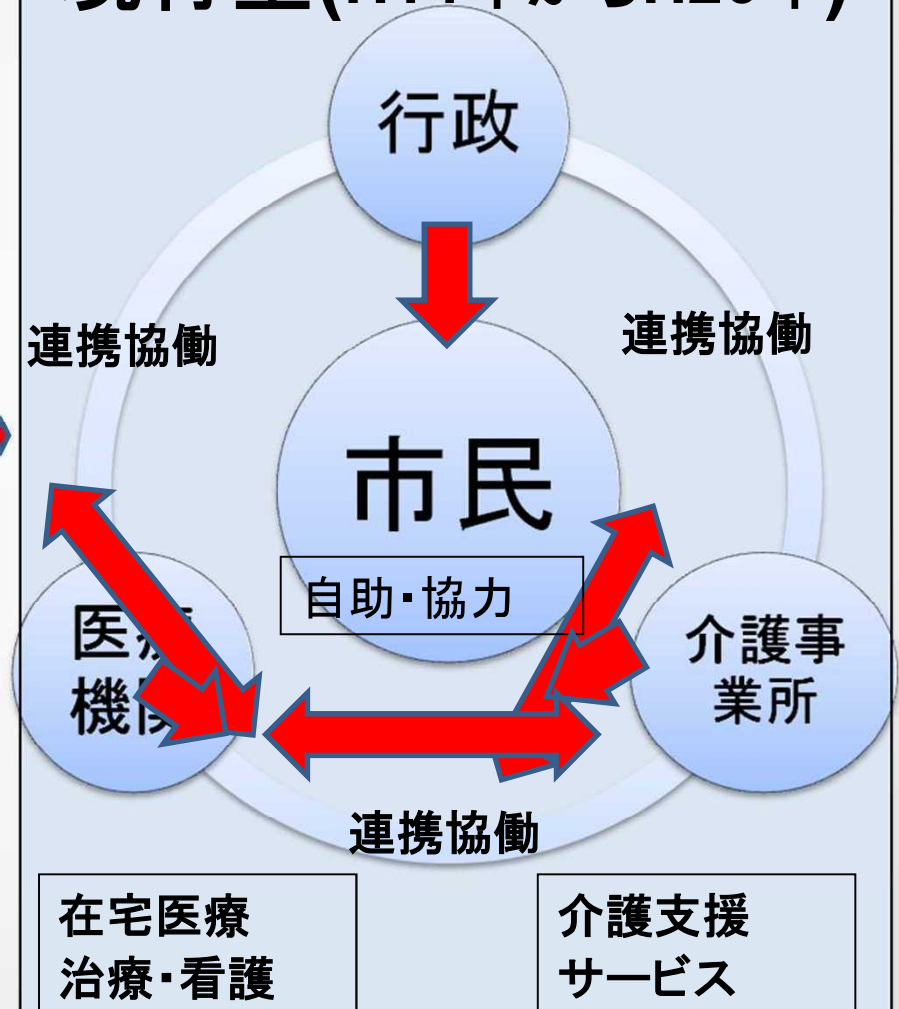
市民への健康支援体制の変化

従来型(H14年以前)

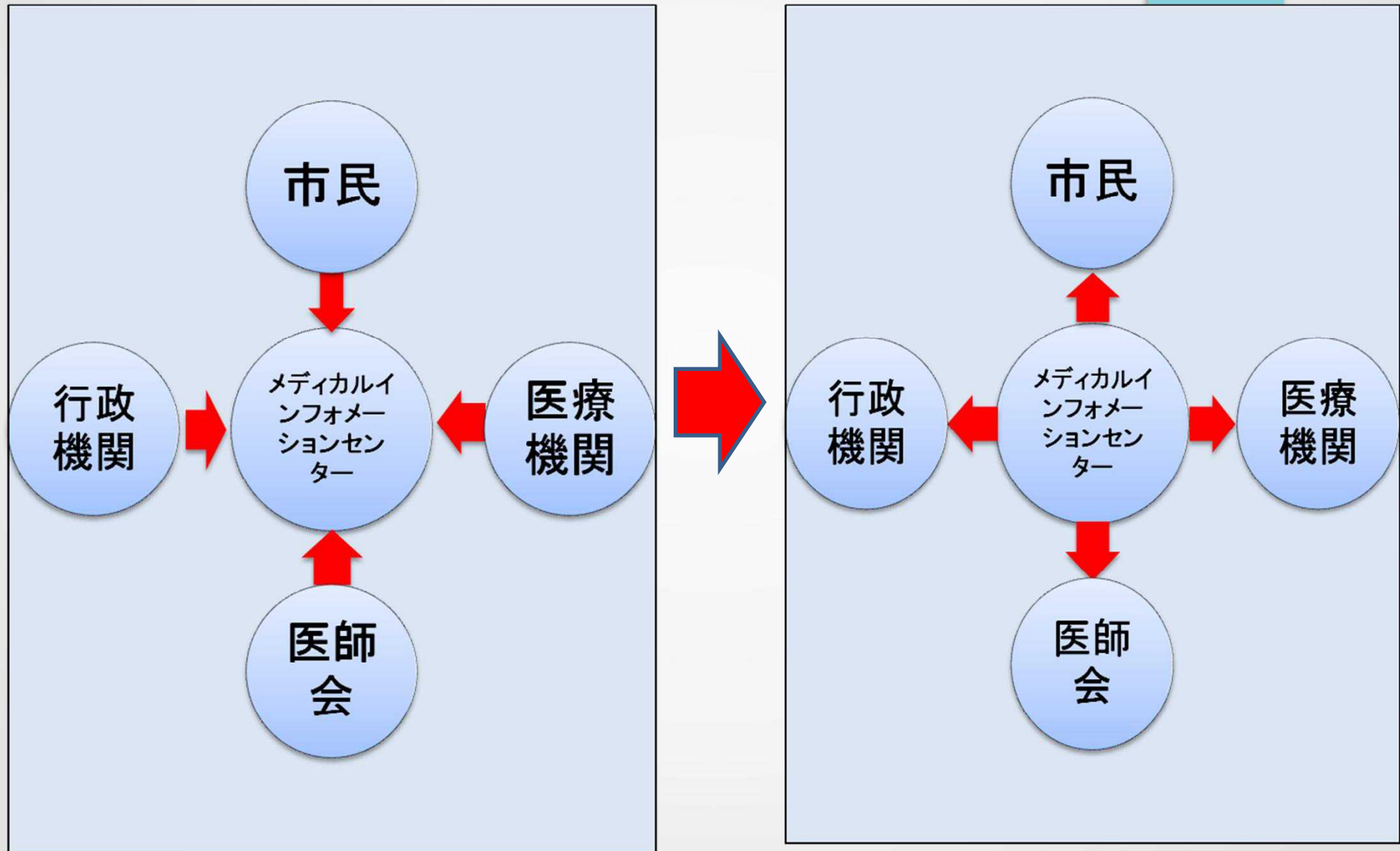


市民への健康支援体制について、行政、医療機関、介護事業所等がそれぞれで行われており、連携は不十分であった。

現行型(H14年からH26年)



メディカル・インフォメーションセンター(MI)における医療情報の集約と発信の仕組み(H14年からH26年)



浦添市と浦添市医師会の協働の歩み

連携・協働の幅

時間

H14年度～市医師会会合(二水会)へ定例参加

H19年度～医療介護連携研修会開始

H20～22年度健康情報活用基盤実証事業

H24年度浦添市医師会 在宅医療連携拠点事業開始

H14年度～休日予防接種事業 予防接種ステーション病院委託

H19年度～浦添市医療・歯科診療機関一覧表作成 全世帯配布開始

H16年度 3kg減量 市民大運動開始

H14年度浦添市メディカル・インフォメーションセンター開設

平成20年

平成21年

平成22年

平成23年

平成24年～

H11年度～病児保育(小児デイケア)事業病院委託

平成15年

H16年度～浦添市民公開講座開始(共催)

H21在宅医療ネットワーク発足

H22年度健康情報活用基盤実証事業シンポジウム

H23年度～在宅医療ネットワーク 定例会 市会場提供開始

平成10年

H12年度 介護保険法施行 認定審査会委員 医師派遣

H21年度 かかりつけ医に関するアンケート調査

H22～在宅医療ネットワーク 市広報、メディカルナビでの広報開始

H23年度浦添市医師会地域見守り実証事業開始

平成5年

H9～病診連携講演会

H4年 浦添市医師会 創設36医療機関

乳幼児健診・集団予防接種事業・小中学校健診、保育所健診事業における医師派遣

平成22年度～糖尿病週間健康相談会 共催

H26市内医療機関 87カ所に増加

在宅医療・介護連携に関する現況

平成21年に浦添市医師会が県内でも先駆けて、浦添市在宅医療ネットワークが設立されました。在宅医療ニーズの増大に対し、浦添市でもメディカル・インフォメーションセンターを中心に在宅療養診療所及び在宅医療を行なう医師・訪問看護師等が不足していることから、在宅医療の理解、普及に向けての後方支援を行なっています。平成20年度から三年間（総務省・厚労省・経産省）のITを活用した三省連携健康情報活用基盤実証や i-Padを利用した地域見守り実証事業（平成23年度経産省）並びに在宅医療連携拠点事業（平成24年度厚労省）と浦添市在宅医療ネットワークを中心に事業が実施されてきました。また地域の医療・介護関係者による多職種連携研修会や定期的に行われる症例検討会・意見交換会での多職種間のネットワークづくり、関係機関が協力のもと医療・介護・福祉資源マップの作成などを連携・協働して取り組んでいます。今後ますます医療と介護を含めた包括的な支援体制の構築に向け浦添市医師会と浦添市が一体となり取り組んでいきたいと考えております。

これからの在宅医療・介護連携

平成27年度から介護保険法改正に伴い、在宅医療・介護連携の推進が地域支援事業の中に位置づけられます。浦添市は、これまでのメディカルインフォメーションセンター運営事業については、これを終了し、その成果を踏まえ、新たな事業として、引き続き浦添市医師会と連携し、今後、市町村の必須事業となる「在宅医療・介護連携推進事業」に移行しました。浦添市では、浦添市在宅医療ネットワークが中心となり市民が安心して在宅医療を受けられるよう在宅主治医と病院、専門医・歯科医師、介護や看護といった様々な多職種が連携を行って、質の高い在宅医療の提供を行なっていますが、今後急速に高齢者人口が増えることが予測されます。地域包括ケアシステムの要素の一つである医療においても、急性期医療からの早期かつ円滑な在宅への復帰を可能とする体制整備や在宅サービスの充実、在宅等での看取りの体制整備などを整え、地域包括ケアシステム構築の充実に向け、浦添市在宅医療ネットワークを中心に浦添市と浦添市医師会や多職種関係機関と常に連携を図りながら取り組んでいきたいと考えています。



● 浦添市医師会

設立:平成4年4月

会員医療機関:84機関、会員数228人(H24.12.31現在)

病院:7 診療所:77(うち有床診療所:12)

● 浦添市在宅医療ネットワーク

設立:平成21年1月

構成:浦添市医師会の在宅療養支援診療所-11 診療所

連携病院 - 6病院 協力医(病院医師、専門医、歯科医師)- 32人

H25年度から在宅医療に関わる多職種も協力会員として参加

H26年度から那覇市医師会会員の3在宅療養支援診療所が

機能強化型在宅療養支援診療所のグループに参加

浦添市在宅医療ネットワーク 毎年度 基本活動内容

訪問診療支援事業

訪問診療依頼実績

世話人会

症例検討会

意見交換会

研修会 在宅医療連携推進のための医師研修会・多職種研修会

市民公開講座

正会員・準会員の拡充

広報活動: 広報うらそえ・メディカルナビ

浦添市医師会ホームページ内掲載

パンフレットの作成

学会発表・雑誌投稿

在宅療養支援診療所数：(地区医師会別)

2015年1月5日現在

